



- かんがえる子 (知)
- おもいやりのある子 (徳)
- たくましい子 (体)

お掃除の仕方を学びました

19日(水)に株式会社ダスキン盛岡上堂店の菅原聡樹支店長とダスキン矢巾の橘純也様にお越しいた
き、「ダスキン キレイのタネまき教室」を開催しました。1年生と5年生が参加しました。

1年生は、もうすぐ2年生となり新たに入学してくる1年生に教える立場
になることを意識させることをねらいに、5年生は、来年度は縦割り班清掃
のリーダーになることを自覚することをねらいに実施しました。

まず、お掃除をする目的を学びました。掃除の主な目的は以下の3点だ
ということを学びました。

- ① 快適＝きれいな空間で気持ちよく過ごす
- ② なごみ＝故障や破損を防いでものを長く使う
- ③ 健康＝心も体も健康で元気に過ごす

次に掃除用具の正しい使い方を教えていただきました。普段使い慣れているほうきやちりとり
の正しい使い方について、実習を通して学ぶことができました。また、雑巾の上手な絞
り方も教えていただきました。低学年の子ども達は雑巾を固く絞ることがなかなか
難しいものですが、みんな上手に絞ることができるようになりました。

さらに掃除後の手洗いの重要性について再確認しました。

最後に講師の方々から参加した児童に「クリーン調査隊メンバー手帳」が授与
されました。



そば打ち体験

同じく19日(水)にいずみ菓子在住で東屋さんにお勤めの立花清一様に指導していただき、6年生が
そば打ち体験をしました。2学期に行う予定でしたが、インフルエンザの流行により延期していた学習
です。毎年そば畑を耕してくださっている南一本木自治会長の岩井雅之様と、唐箕を貸してくださった角掛利
子様をお招きしました。

はじめに立花様からそばの打ち方を教えていただきました。今年6年生
が栽培したそばの実はとてもできがよく、いいそば粉ができているとお褒
めの言葉をいただきました。比較的少ない水の量でもしっかりとしたおそ
ばが打てるとのことでした。

まず、そば粉全体に水がいきわたるように混ぜていきます。指でやさし
くかき混ぜ、そば粉が指につかなくなるまで混ぜていきます。

そば粉全体に水がいきわたったら、しっかり手の腹で練っていきます。

ひびが入らないように柔らか過ぎず、かた過ぎないようにするのがポイントだそうです。十分に練ったら生



地を中に練り込んでいき、円錐形に形を整えたら、手で押して平らにします。その後麺棒で生地を薄く伸ばします。その時、手についたそば粉の小さな塊が伸ばした生地につかないようにすること、斜めに動かしながら四角形になるように伸ばすことを教わりました。

十分に生地を伸ばしたら、麺切包丁で切っていきます。細い麺、太い麺と班によって様々でしたが、初めて持つ麺切包丁を上手に使いながら思い思いの蕎麦が打ちあがりしました。

さっそくゆでて、東屋さんのおいしいそばつゆでお蕎麦をいただきました。



そば粉に水をいきわたらせる → **生地を練る** → **生地をのばす** → **切る**

比較するためにいただいた東屋さんのお蕎麦だけでなく、そば寿司とそば粉で作ったデザートもいただきました。自分達で育て、自分達で収穫したそばで打ったそばを食べるという経験は、子ども達にとって貴重なものになりました。また、そば寿司やそば粉で作ったデザートをいただくことで、そばはお蕎麦以外にもいくつかの食べ方があることを学びました。



左側は東屋さんのお蕎麦



そば寿司とそば粉を使ったデザート



楽しく会食

学校保健委員会

14日（金）に学校保健委員会を開催しました。当日は学校保健委員会の委員でもあるPTAの三役・監事・地区理事の方々だけではなく、学校内科医の山口淑子先生，学校歯科医の小豆嶋章先生，学校薬剤師の戸来賢明先生，一本木中学校の菅原和歌子先生にも参加していただくことができました。足元の悪い中，そして遅い時間にもかかわらず，たくさんの方々に参加いただきましたこと大変ありがとうございました。

養護教諭の後藤より，今年度の各種健康診断の結果と身体測定の結果，そして体力向上担当教諭の高橋より，今年度の体力・運動能力調査結果について説明させていただきました。また，本校の児童の実態として，虫歯のない児童が全国値に近づいてきている等のよい点があるものの，肥満傾向の割合が高くなってきていること，柔軟性が低いこと，早起き・早寝・就寝前の歯磨き・メディア利用の時間など，基本的な生活習慣の確立に課題があることが協議されました。この点については家庭・地域・学校が連携して子ども達の健康のために取り組みを強化していきたいところです。

学校医の先生方からは，肥満と運動習慣，生活習慣の確立と虫歯の関係，若者のメディア利用とオーバードーズなどの問題について貴重なご意見をいただきました。



今日が楽しく

明日が待ち遠しくなる学校

- かんがえる子 (知)
- おもいやりのある子 (徳)
- たくましい子 (体)

滝沢市立一本木小学校
令和7年 3月 6日
第20号 文責：亀丸

いのちの授業

2月20日(木)に4年生を対象に「いのちの授業」を実施しました。ハッピーバース研究会の助産師加藤忍先生に指導していただきました。

「生まれてくるってどんなこと」と「これからのみんなの体のこと」という2つのテーマで学習しました。まず、最初のテーマでは、子宮の中での子どもの成長について学習しました。「妊婦体験」、「赤ちゃんだっこ体験」、「心音聴取体験」の3つの体験を通して、妊婦さんの苦労や赤ちゃんの実際の重さ、自分の心拍と赤ちゃんの心拍の速さの違いを感じ取り、新しい命が誕生することは奇跡であること、生まれてきた自分達が家族にとってかけがえのない大切な存在であることを学びました。次のテーマでは、二次性徴について学びました。黒い模造紙に体の型を写し、二次性徴に伴う体の変化について確認しました。講師の先生の「自分の体の変化を理解していなければ、自分の体を大切にすることはできません。」という言葉が印象的でした。時間いっぱい命について考えることができた有意義な学習になりました。



思春期保健講話

2月21日(金)に「思春期のころとからだの変化」をテーマに、思春期保健講話を実施しました。講師は学校内科医である鶴飼こどもクリニックの山口淑子先生です。

「思春期のころと体の変化について」というテーマでお話していただきました。心も体も大きく変化し、不安が大きくなる思春期にある子ども達に、磨いておきたい4つの力を教えていただきました。6年生の子ども達は真剣な表情で山口先生のお話を聞いていました。

【磨いておきたい4つのパワー】

- 1 自分の考えをしっかりとつ力 —— 相手の気持ちや考えを分かろうとする力
- 2 自分をほめる力 —— 相手を認める力
- 3 自分のわがままをコントロールする力 —— 相手を自分の思い通りにしない力
- 4 自分の意見をきちんと言える力 —— 相手の話をよく聞く力



【感想】 藤原 佳奈

自分のことは自分で守ることが、心に残りました。これから先、心も体も大きく成長していくから、もっと自分と向き合おうと思いました。

楽しかった6年生を送る会

2月27日（木）に6年生を送る会が開かれました。新児童会執行部が中心となって企画・運営される会です。1年生がプレゼントの首飾りをつくり、2年生は体育館入り口の装飾をしました。3年生は事前に招待状を配り、4年生は6年生一人ひとりの似顔絵を描きました。5年生はステージ装飾と会場の準備や片付けを行いました。

1年生に手をひかれ入場した6年生。少し緊張した表情でしたが、各学年の心温まる発表を見ているうちにこやかな表情になりました。

1年生は6年生への感謝の気持ち呼びかけにして発表しました。憧れの6年生を誘って長なわをしました。2年生は6年生にダンスの無茶ぶりをしました。6年生が前に踊ったことがある「パプリカ」です。照れくさそうにしながらもしっかり踊ることができました。3年生は6年生と一緒に長縄の記録に挑戦しました。さすがは6年生、設定された記録を更新し、見事表彰されました。4年生は先生のことに関するクイズと、歌とダンスで感謝を表しました。クイズは担任と校長の問題でしたが、正答率がとても低かったです。

（涙）5年生は今年1年間の6年生の活躍をクイズにして出題しました。6年生はクイズに答えながら自分達の1年を振り返ることができました。

いよいよ6年生からお礼の発表です。グループごとに自分達の得意なことを生かした発表でした。ダンス、似顔絵、跳び箱、計算競争、スポーツ競争、合奏と盛りだくさんな内容でした。在校生を楽しませる素晴らしい発表でした。最後は始まりの時と同様に1年生と手をつないで、在校生のつくったアーチをくぐって退場していきました。とても晴れやかな表情には、今年1年間最上級生として全校を引っ張って頑張ってきたことに対する満足感と、肩の荷を下ろした安堵感のようなものを感じました。ありがとう。6年生のみなさん。きっと中学校でも周りのみんなを楽しませる活躍をすることでしょう。



感謝をつたえる1年生



2年生にお願いされ踊る6年生



3年生と長縄の記録に挑戦



ダンスを披露する4年生



クイズを出題する5年生



得意技を披露する6年生



1年生と退場する6年生



在校生に感謝する新執行部



ステージで記念撮影